

# 赤ちゃん、生まれたよ！

プロジェクト名	ぱんだ6月		
日付	2024年 6月 24日	記録者名	石川
園児			
本日のねらい・内容	5月終わりに子どもたちと「ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたらいいねー」と話していました。ダンゴムシ当番を続けていく中で、時々子どもたちから「赤ちゃん生まれてないねー」とまだ生まれていないことを悲しんでいる声や、「いつ生まれるかな？」と楽しみにしている声が聞こえてきていました。暑くなってきて野菜をそのままにしておくのはちょっと危険...ということで土曜日の夕方ダンゴムシさんのお家から野菜を取っていると、小さな小さな何かを発見した保育者。よく見てみると...それはダンゴムシの赤ちゃんでした！！その日は、職員同士で共有をし、月曜日に子どもたちに話すことにしました。そして、今日！ダンゴムシ当番をしている子どもたちに、「あっ！！そういえば！ダンゴムシさん、赤ちゃん生んでたよ！」とだけ報告しました。すると...		



「えっ？！どこにおったん？！」という子どもたち。保育者の声を聞いて、最初は4人の子どもたちがダンゴムシさんの家の中を覗き込んでいました。しかし、なかなか見つからず...。「本当におったん？」、「どこにおったん？」と保育者に質問をどんどんしていきます。

4人の子どもたちが見ていると、「なにになにー？！」、「どうしたんー？！」と言ってどんどん子どもたちが集まってきました。「ダンゴムシさんの赤ちゃんがおったんだって！」と保育者に教えてもらったことを友だちに伝えてみんなで探します。頑張って探していると...



「あっ！！おったー！！！」と大きな声が聞こえてきました！その声を聞いて、「どこどこ？！」「見えんー！！」とまだ見ていない子どもたちが自分はまだ見ていない！というのをアピールしていました！

ダンゴムシの赤ちゃんを見た子どもたちが、「こんなに小さかった！」、「透明みたいな、白かった。あっ！でもちょっと茶色かった！」と赤ちゃんを見て気づいたことを教えてくれました！ダンゴムシさんの赤ちゃん生まれてきてくれて、ありがとう。

成長の視点

今後の展開